

ケーススタディ（事例）による業務コストの20%削減 ～抜本的コストダウン成功のポイント～

●プログラム●

【開催主旨】

本セミナーは、事業コストを「人コスト」と「物コスト」に分け、リストラに当たる「人コスト」の削減には手をつけずに、「物コスト」の削減により、20から30%の抜本的な事業コストダウンに成功した事例を紹介しながら、その削減ノウハウを解説します。

架空の企業（東洋株式会社とグループ会社）がプロジェクトを紆余曲折しながら成功させたストーリーの中で、現在多くの企業が抱えている問題点やコスト削減を進める際に陥りがちな罠と対処方法などを、プロジェクト遂行にあたったコンサルタントの目を通して描きます。

本セミナーにより、抜本的なコストダウンをいかに成功させるかのポイントをお伝えます。

◆日時：2014年10月28日（火） 13:30～17:00

◆会場：東京・麹町 「企業研究会 セミナールーム」

◆講師：ネクストコンサルティング（株） 代表取締役 畠中 一浩氏

【略歴】

早稲田大学理工学部卒。同大学工学修士。

公認情報システム監査人(Certified Information Systems Auditor(CISA)。公認企業ITガバナンス専門家(CGEIT)。ISACA システム基準委員会委員長、早稲田大学戦略IT研究所 客員研究員 歴任。アンダーセンコンサルティング(現アクセンチュア)、コーポレートディレクション 取締役パートナー、CDIソリューションズ 代表取締役CEO、フューチャーアーキテクト ディレクター、シグマクシス パートナーを経て、現在に至る。

【コンサルティングテーマ】

経営戦略の立案、事業計画の策定、M&A 戦略・アドバイザー

戦略に沿った組織・業績評価・BPR・情報システムの改革計画策定、実行支援

企業の収益力の向上、全社コストダウン計画策定、実行支援

情報システム監査、情報システムガバナンス、内部統制（J-SOX など）の実行支援

近年は、ビッグデータ（DMP、データ分析など）に関するプロジェクトを推進

【著書】

「IT 投資は3年で回収できる」 PHP 研究所 2008年

「人を減らさず、ムダを減らせ」 NTT 出版 2010年

●参加要領●

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

*当会ホームページ (http://www.bri.or.jp) からもお申込みいただけます

●受講料● 1名（税込み、資料代含む）

正会員	32,400円	本体価格 30,000円
一般	35,640円	本体価格 33,000円

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてにFAX いただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日（開催日1週間～10日前までに）受講票・請求書をお送り致します。

●申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより【TOP】→【公開セミナー】→【よくあるご質問】をご参照下さい。

●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきますことありますので、ご了承下さい。

一般社団法人企業研究会

担当：村野 E-mail murano@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 31MT ビル 2F

TEL 03-5215-3550 FAX 03-5215-0951

141356-0306	※2014.10.28 ケーススタディ（事例）による業務コストの20%削減		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			

ケーススタディ（事例）による業務コストの20%削減 ～抜本的コストダウン成功のポイント～

1. 本セミナーの背景と目的

2. プロジェクトの開始

- (1) A社の概況
- (2) プロジェクト体制
- (3) A社の課題

3. 在庫・物流コストの削減

- (1) 物流コスト削減施策
- (2) 在庫の全体像
- (3) 需要予測・SCMの実装
- (4) 中国とのSCM

4. 生産業務コストの削減

- (1) 生産部門の課題
- (2) 生産改革の方向性
- (3) 標準化への対応

5. 購買コストの削減

- (1) 購買部門の課題
- (2) 購買コスト削減の基本施策
- (3) コストダウンのための組織体制

6. 間接業務コストの削減

- (1) 間接業務コスト削減の考え方
- (2) 業務実態調査の進め方

7. ITコストの削減

- (1) 情報システムの実態調査
- (2) 現状の課題抽出
- (3) 情報システムのスリム化方針

8. まとめ Q&A